

学士院賞 長谷川氏ら10人

日本学士院は13日、優れた業績を挙げた研究者に贈る日本学士院賞に、プレート沈み込み帯の地殻やマンツールの構造と地震活動の関

係を調べた長谷川昭東北大名誉教授(71)ら10人を選んだと発表した。長谷川氏には恩賜賞も贈る。

他の受賞者は、乳幼児がかかる川崎病で、心臓の冠動脈障害の合併症に対する手術法を確立した北村惣一郎・国立循環器病研究セン

ター名誉総長(76)、植物に有害な病原性細菌「ファイトプラズマ」のゲノム(全遺伝情報)を解読した難波成任東京大教授(65)ら。授賞式は6月に東京・上野の日本学士院で開かれ、1件につき賞金100万円が贈られる。

【日本学士院賞・恩賜賞】

長谷川昭(はせがわ・あきら) 東北大名誉教授、地震学。プレート沈み込み帯の構造と地震活動を研究。71歳。群馬県出身。仙台市太白区。



【日本学士院賞】

奈良沢由美(ならさわ・ゆみ) 城西大准教授、西洋美術史。フランス南部の教会祭壇の類型を体系化。51歳。長野県出身。東京都荒川区。



清水展(しみず・ひろむ) 京都大教授、社会人類学。フィリピン・ルソン島の先住民の実態を調査。65歳。神奈川県出身。京都市左京区。



高崎史彦(たかさき・ふみひこ) 高エネルギー加速器研究機構名誉教授、物理学。粒子と反粒子の実験。73歳。栃木県出身。茨城県つくば市。



荒川泰彦(あらかわ・やすひこ) 東京大教授、光電子工学。電子を閉じ込める量子ドットを研究。64歳。名古屋出身。川崎市麻生区。



横堀寿光(よこぼり・としみつ) 東北大名誉教授、材料強度学。金属疲労を数値解析する理論。65歳。仙台市出身。仙台市太白区。



難波成任(なんば・しげとう) 東京大教授、植物病理学。植物の病原性細菌のゲノムを解読。65歳。東京都出身。東京都文京区。



戸田達史(とだ・たつし) 神戸大教授、神経内科学。福山型筋ジストロフィーなど糖鎖合成異常症の解明。56歳。岐阜市出身。大阪市西区。



遠藤玉夫(えんどう・たまお) 東京都健康長寿医療センター研究所副所長、生化学。戸田氏との共同研究。63歳。千葉県出身。埼玉県志木市。



北村惣一郎(きたむら・そういちろう) 国立循環器病研究センター名誉総長、医学。小児の心臓手術法確立。76歳。兵庫県出身。大阪府吹田市。

